

地域力を 結集

たむろ たけのこ館 直売所



「笑顔でお待ちしています」たけのこ館の会員の皆さん



広報
市民リポーター
だより



花田 慶子さん

(外川原)

国道7号沿い、田代中学校入り口の交差点付近に、「たけのこ館」の看板が見えます。皆さんも一度はご覧になったことがあるかと思えます。以前からここを通る度に、中はどうなっているんだろうと思っていました。

訪ねてみると、ここは、農産物の直売所です。私は、田代地域に住んでいながら、この直売所のことは何も知りませんでした。今回は、田代地域の皆さんの力を結集してオープンした、「たけのこ館」をレポートします。

たけのこ館は、昨年6月にオープンした農産物や加工品の直売所です。名前のとおり、生タケノコやタケノコの缶詰などの販売がこの店の特徴です。そのほかにも会員の畑で獲れたネギやキャベツなどの農産物を販売しています。

また、農産物の加工品もあり、古代米とエゴマを使って作った「旨米^{うまいね}麺」という乾麺もあります。その他にも、おせんべいや、おやき、障害者支援センターで製作された小物など、数多くの商品が所狭しと置かれています。商品には、それぞれ生産者名が付いていて、誰が育てたのか、誰が作ったのかがわかります。お気に入りの商品を身近に感じて、とっても親近感がわくと思いませんか？これが産直のお店で買い物をするだいたい味の1つだと思えます。

早速、「たけのこ館」の組合長の佐藤友司さんと、野菜部会部長の安部玲子さん、お店にいらした平泉明子さんにお話をうかがいました。